

畜生

畜生（ちくしょう、梵: tiryāñc^[1] ティリヤンチュ^[注釈 1]、巴: tiracchāna^[2]）とは、**仏教**において、鳥・獣・虫・魚などの全ての人間以外の動物のこと^{[3][4]}。**傍生**（ぼうしょう）^{[3][注釈 2]}、**横生**（おうしょう）とも訳される^[1]。**衆生**の生存の状態を**五道**や**六道**とするうちで、畜生の世界を指す**畜生道**は**三悪道**（**三悪趣**）の1つ^[3]。

目次

概説

畜生道

脚注

注釈

出典

関連項目

外部リンク

概説



この節の加筆が望まれています。

畜生道

畜生道は六道の1つであり、**悪業**の報いとして死後に生まれ変わる世界である^[5]。**畜生趣**ともいう^[5]。

仏教用語でない用法としては、人間として許し難い行為・生き方や**肉親間**の**色情**を意味する^[5]。

脚注

注釈

- ↑ 子音rと半母音yが連続した場合の発音についてはचत्वारि आर्यसत्यानि [sa (https://ja.forvo.com/word/sa/%E0%A4%9A%E0%A4%A4%E0%A5%8D%E0%A4%B5%E0%A4%BE%E0%A4%B0%E0%A4%BF_%E0%A4%86%E0%A4%B0%E0%A5%8D%E0%A4%AF%E0%A4%B8%E0%A4%A4%E0%A5%8D%E0%A4%AF%E0%A4%BE%E0%A4%A8%E0%A4%BF/#sa)1の発音]を参考にした。
- ↑ 梵: tiryāñcは**底栗車**と音写する^[3]。

出典

- ↑ ***a*** ***b*** デジタル大辞泉 ちく-しょう [-シヤウ] **【畜生】** - デジタル大辞泉 (https://kotobank.jp/word/%E7%95%9C%E7%94%9F-95994)
- ↑ "***tiracchāna*** m. [Sk. tiraścīnā] 畜生, 傍行. cf. tiriyaṃ, tiro." (水野弘元『増補改訂 パーリ語辞典』、春秋社、2013年、p.144)
- ↑ ***a*** ***b*** ***c*** ***d*** 総合仏教大辞典編集委員会（編）『総合仏教大辞典』下巻、法蔵館、1988年1月、985頁。

- ↑ “畜生(ちくしょう)とは - コトバンク (https://kotobank.jp/word/%E7%95%9C%E7%94%9F-95994) 朝日新聞社 2017年10月15日閲覧。
- ↑ **a** **b** **c** “畜生道(ちくしょうどう)とは - コトバンク (https://kotobank.jp/word/%E7%95%9C%E7%94%9F%E9%81%93-565579)”. 朝日新聞社. 2017年10月15日閲覧。

関連項目

- 餓鬼
- 地獄
- 輪廻
- 十界

外部リンク

- 畜生

「<https://ja.wikipedia.org/w/index.php?title=畜生&oldid=66066759>」から取得

最終更新 2017年10月26日 (木) 06:57（日時は個人設定で未設定ならばUTC）。

テキストはクリエイティブ・コモンズ表示-継承ライセンスの下で利用可能です。追加の条件が適用される場合があります。詳細は[利用規約](#)を参照してください。